

山行報告書

受付 No.	184	登山地・ルート	空木岳～南駒ケ岳
目的	歩行トレーニング		
メンバー	大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
9・26・土	曇り	浜松＝伊奈川ダムⓈ～空木岳登山口～吊橋～八合目～木曾殿越～空木岳 4:00 5:44 6:33 8:10 9:17 10:32 赤柳岳～南駒ケ岳～北沢尾根三角点～南駒登山口～伊奈川ダムⓈ＝浜松 11:43 12:24 13:52 15:18 16:20
・	・	

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

【ダムⓈ～登山口】

ヘッドライトを点け、熊よけの鈴を鳴らしながら林道歩きをスタートする。正直、こわかった。この恐怖＝おぼけ？動物？人？…それらも恐いけど、暗闇そのものの息苦しいほどの圧迫感が圧倒的。が、それも30分くらいで慣れ、林道分岐の金沢土場に至る頃には明るくなってきた。

【登山口～空木岳】

林道が広がった所から指導標に導かれ左へ入る。登山口から吊橋までは急登を登る箇所もあるが、その努力は吊橋のある北沢へと下ることでもリセットされる。吊橋は味わいぶかい雰囲気。ここから本格的に急登に入る。途中、下りてくる2人組と、仙人の泉という水場で休憩する数人のグループがいた。上の水場で水を補給しようと思ってここは通過する。しかし、義仲の力水という水場は涸れていた。そこを過ぎるとすぐ木曾殿越に出る。ここから稜線歩きとなるが、ガスっていて展望はいまいち。石が無造作に積み上げられたような登山道を歩いて空木岳へ。

【空木岳～南駒ケ岳】

連休明けのせいか、天気の良いせいか、稜線を歩く人は少ない。赤柳岳の上りで下ってくる団体と出会うが、それ以外に稜線で会ったのはほんの数人。この辺りの紅葉は、今が最盛期と言っていいくらい素晴しかった。摺鉢窪避難小屋の分岐のあるコルに、南駒まで20分という表示があった。見上げるピークに、ウソだろと思いつつ時間を計ってみる。写真を撮ってた時間とか差し引いて、ギリ20分かな…って感じだった。ちょっとタイトすぎないか？とも思った。

【南駒ケ岳～ダムⓈ】

山頂直下は大きな石の上をコースマークを目印に飛び移ったり慎重に足場を探して下りたり。コースマークは途中不明瞭なところもあり、時折ルートファインディング。踏み跡はあるが、気の良い去年よりも這松が茂ってるような…。樹林帯下部は結構急で、足元も滑りやすい。空木岳～越百山への縦走の悪天候時、南駒からの下山をエスケープにする場合には、これらのことを承知しておいたほうがいいかもと思った。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----



ビミヨ～な吊橋



赤柳岳斜面の紅葉



木曾殿越



摺鉢窪避難小屋への道

…思わず歩いていきたくなる



空木岳山頂



南駒ヶ岳山頂